



原田笑理子さん
(23歳・麻生)

スノーボード

今日は、私の趣味のスノーボードの事をお話しします。シーズンになると、休みの日は必ずスキー場へ行き、年に何回かは仲間のみなどと泊まりに行ったりと、山に雪がなくなるまで滑っているのですが、今年は新しい事に挑戦したいと思い、5月に田沢湖へ行き、山登りして滑って行くバックカントリーをしてきました。初めての登山で慣れていないという事もあって、かなり疲れましたが、登る途中、いくつかの難関を乗り越えて頂上へたどり着いた時は感動しました。登りきった時



田沢湖スキー場の頂上で友人と一緒に(本人中央)

の達成感とそびえ立つ山々を見て自然の偉大さを感じました。天気も良く、山一面を滑る開放感が最高で、なにより普段体験できない事ができて良い経験になりました。登山は大変でしたが、その充実した滑りをする事ができ、来シーズンはもっと体力をつけて、他の山でもバックカントリーに挑戦したいと思いました。

次は、切石の成田悟さんにバトンタッチです。

拝啓 ふるさと様

121

東京二ツ井会会員から

ふるさとへの熱いメッセージ

智田 明夫さん(富根出身)

東京都葛飾区在住



エクアドル共和国滞在中のスナップ

ふるさとの皆様こんにちは！ 私が35年前(1970年)にはじめて海外に駐在したときのことを書いてみます。その頃の私は鉱物資源の調査・開発会社に勤め、ボーリング技術者として、南米のエクアドル共和国に派遣されました。他社の技術者を含め、7名で羽田空港から出発しました。当時の飛行機は中型機で飛行距離も短く、飛行時間は(ロスアンゼルス経由で給油・乗り継ぎを含め)約27時間で目的の空港に到着しました。降りたときはふらふらだったことを思い出します。調査地のベースキャンプは、アンデス山中にあり、調査地までの旅程は想像を絶するものがありました。宿泊地のホテルから早朝3時に車で出発し、約3時間でアンデス山脈の麓(標高約1700m)に到着。ここで荷物を馬に積み替え、日本人技術者も馬に乗り、総勢25名のキャラバンを組んで標高3000mにある中継地をめざして出発しました。途中、雨・風を受け、その中継地の一軒家を經由しながらベースキャンプに到着したときには脚は立たず、膝はがくがく、お尻はすりむけ、歩くことも座ることも困難な状態でした。未だにあのような経験はありません。その夜、先発して出迎えてくれた調査団長の一言は「皆さん！逃げて日本に帰るのは今のうちです。私は引き止めません！」でした。お陰様でスペイン語も不自由なく過ごせましたが、当時のことを思い出しますと、お尻の痛みがよみがえるこの頃です。



6/11

県北地区埋蔵文化財発掘調査地域報告会が福祉会館で開催され、二ツ井町の烏野遺跡を始め、能代市や北秋田市での発掘調査の報告や展示が行われました。旧石器時代から平安時代までの遺跡の調査報告に、参加者は興味を尽きない様子で熱心に耳を傾けていました。



5/29

二ツ井町防災訓練
今年の防災訓練はブナの森ふれあい伝承館で行われ、消防署や消防団、地域住民合わせて約200人が参加。震度5強、道路の亀裂や陥没、建物火災が発生したという設定で訓練を行いました。今回は煙体験を初めて実施し、煙の恐さを身を持って体験しました。



6/12

ふたつ白神郷土の森春の自然観察会
あいにくの雨となりましたが、町外からの参加者も含め総勢25名で出発した春の自然観察会。広大なブナ林の中を探索し、ブナの巨木や町なかでは見られない植物を観察しました。お昼には旬のたけのこ汁に舌鼓をうち、郷土の森の大自然を満喫しました。



6/11

全日本学童軟式野球大会
山本郡予選大会
学童軟式野球の山本郡予選が琴丘町のスカルパ野球場で行われ、二ツ井クラブが準決勝で浜口を下し決勝へ進出。鯉川との決勝戦では惜しくも敗れたものの、見事準優勝に輝きました。準優勝の二ツ井クラブは8月上旬に開催される県クラブ野球大会に出場します。



6/24

きみまち阪
ライトアップイベント
記念すべき10回目を迎えたきみまち阪ライトアップイベント。今回はジャズバンドを招き、第一広場の特設ステージでジャズコンサートを開催。天候にも恵まれ、会場を埋め尽くしたたくさんのお客様は、夜空に照らし出された幻想的な屏風岩と生のジャズ演奏に酔いしれ、夏の夜長を楽しみました。